

## まちぢから協議会制度に関するアンケート調査結果

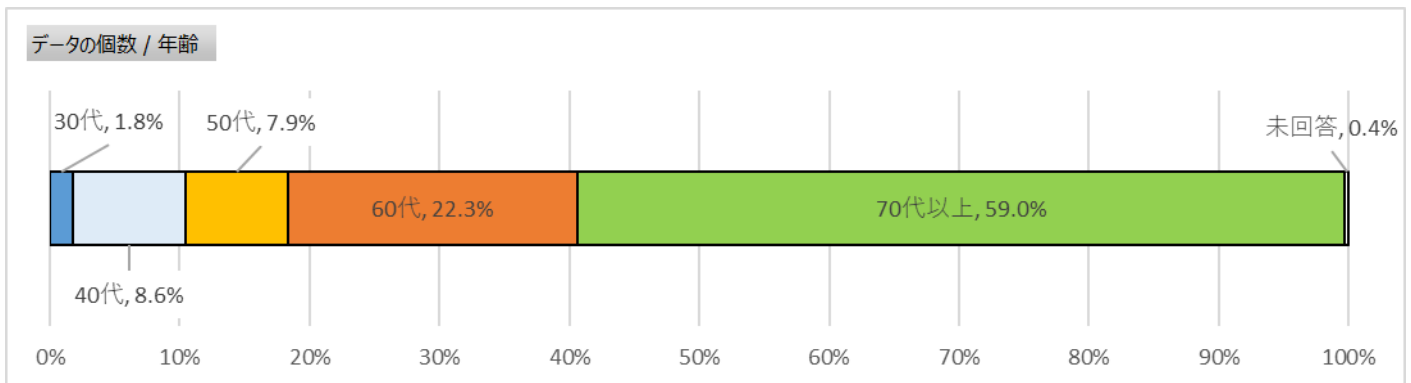
回答者数：278、配布数：383、回答率：72.6%

※四捨五入しているため、回答割合の合計が100%にならないことがあります。

### 設問1 あなたの年齢をお答えください。【1つだけ○】

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代以上

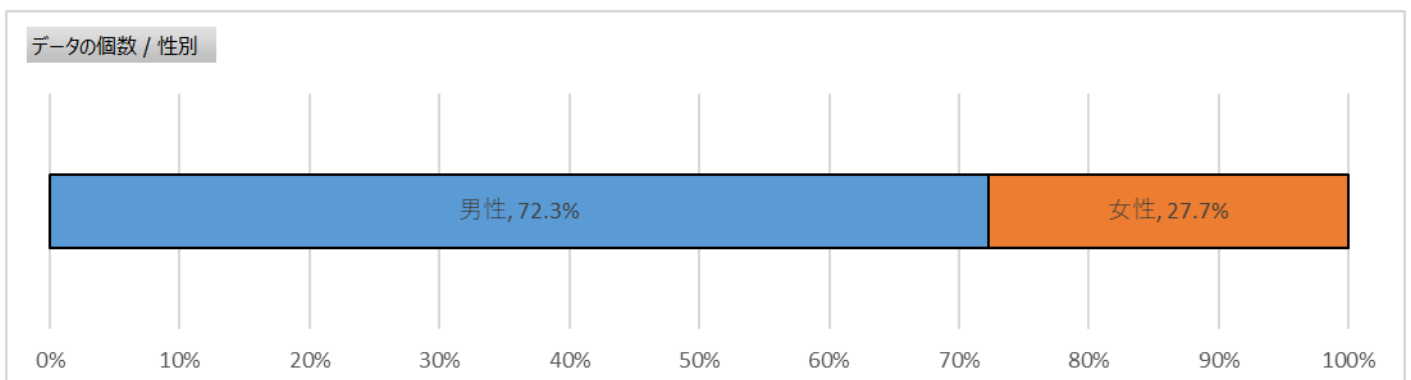
	30代	40代	50代	60代	70代以上	未回答	合計
回答割合	1.8%	8.6%	7.9%	22.3%	59.0%	0.4%	100%
回答数	5	24	22	62	164	1	278



### 設問2 あなたの性別をお答えください。【1つだけ○】

1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 回答しない

	男性	女性	合計
回答割合	72.3%	27.7%	100%
回答数	201	77	278



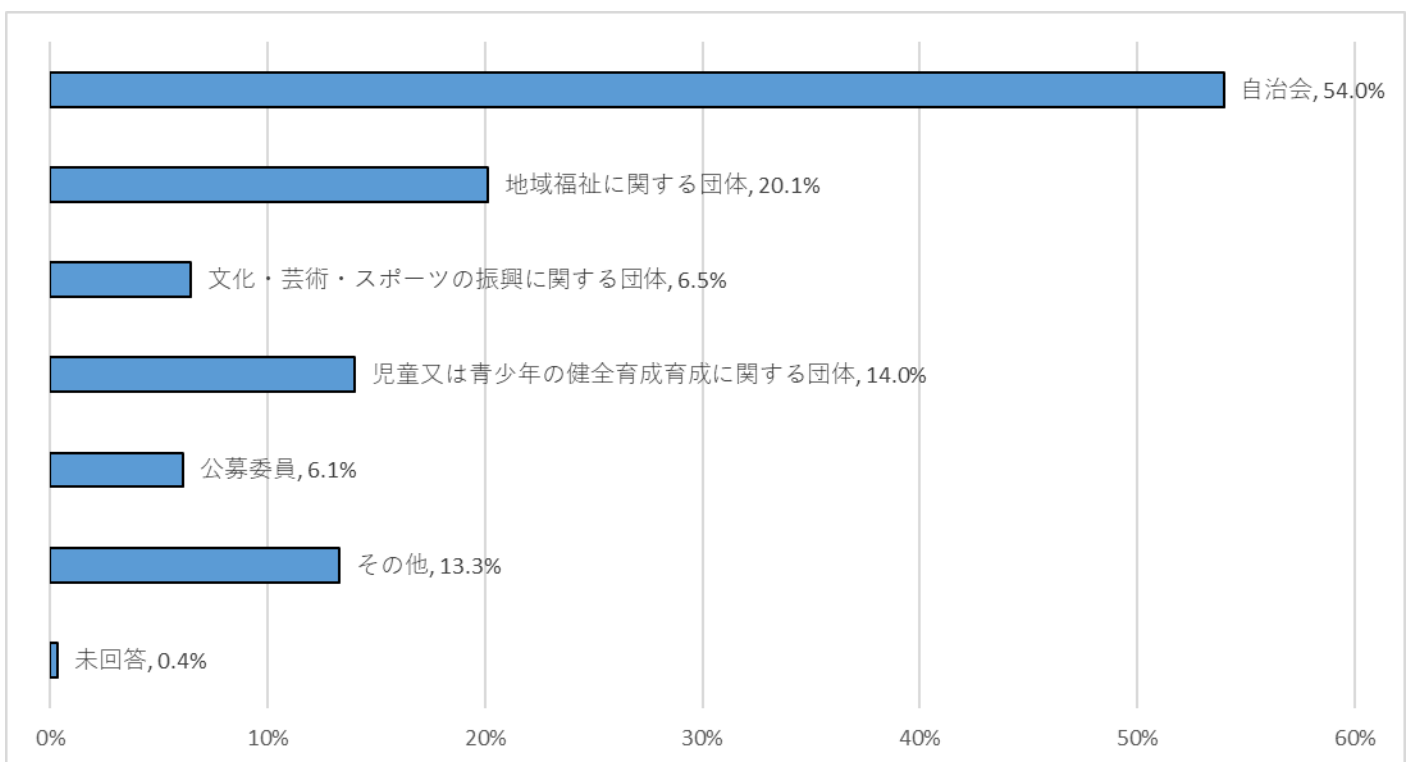
**設問3** あなたの所属団体をお答えください。【いくつでも○】

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 自治会                 | 2. 地域福祉に関する団体           |
| 3. 文化・芸術・スポーツの振興に関する団体 | 4. 児童又は青少年の健全育成育成に関する団体 |
| 5. 公募委員                | 6. その他（ ）               |

	自治会	地域福祉に関する団体	文化・芸術・スポーツの振興に関する団体	児童又は青少年の健全育成育成に関する団体	公募委員	その他	未回答	合計
回答割合	54.0%	20.1%	6.5%	14.0%	6.1%	13.3%	0.4%	114.4%
回答数	150	56	18	39	17	37	1	318

※回答者数は 278 名

※複数回答のため、回答割合の合計が 100%を超えています。

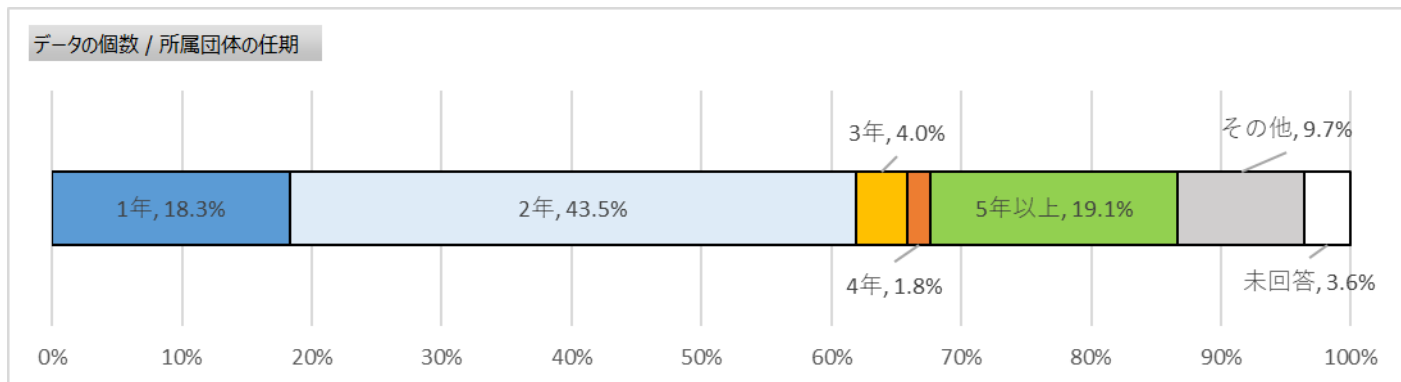


**設問4** あなたの所属団体での任期をお答えください。【1つだけ〇】

※公募委員は公募委員の任期をお答えください。

1. 1年    2. 2年    3. 3年    4. 4年    5. 5年以上    6. その他 (                    )

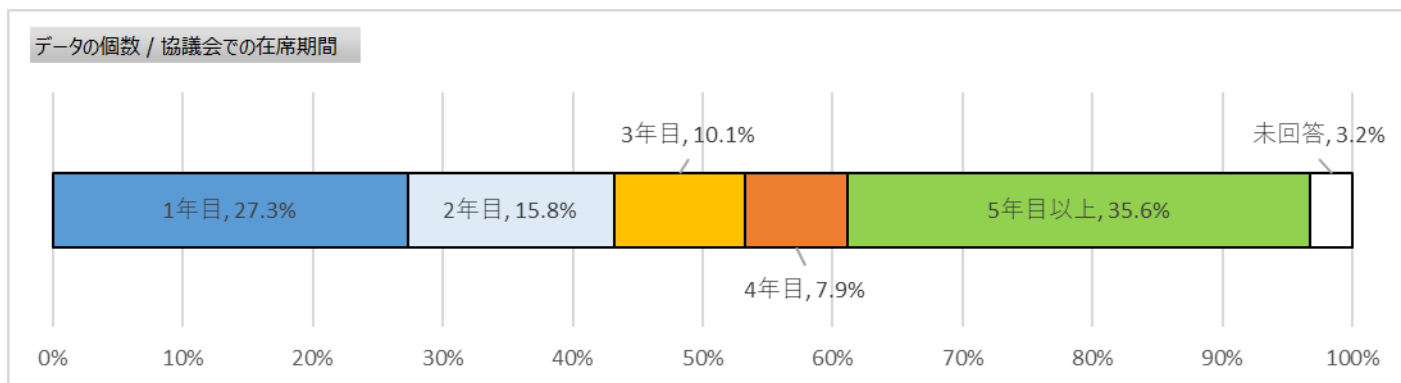
	1年	2年	3年	4年	5年以上	その他	未回答	合計
回答割合	18.3%	43.5%	4.0%	1.8%	19.1%	9.7%	3.6%	100%
回答数	51	121	11	5	53	27	10	278



**設問5** あなたのまちちから協議会での現時点の在籍期間をお答えください。【1つだけ〇】

1. 1年目    2. 2年目    3. 3年目    4. 4年目    5. 5年目以上

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目以上	未回答	合計
回答割合	27.3%	15.8%	10.1%	7.9%	35.6%	3.2%	100%
回答数	76	44	28	22	99	9	278



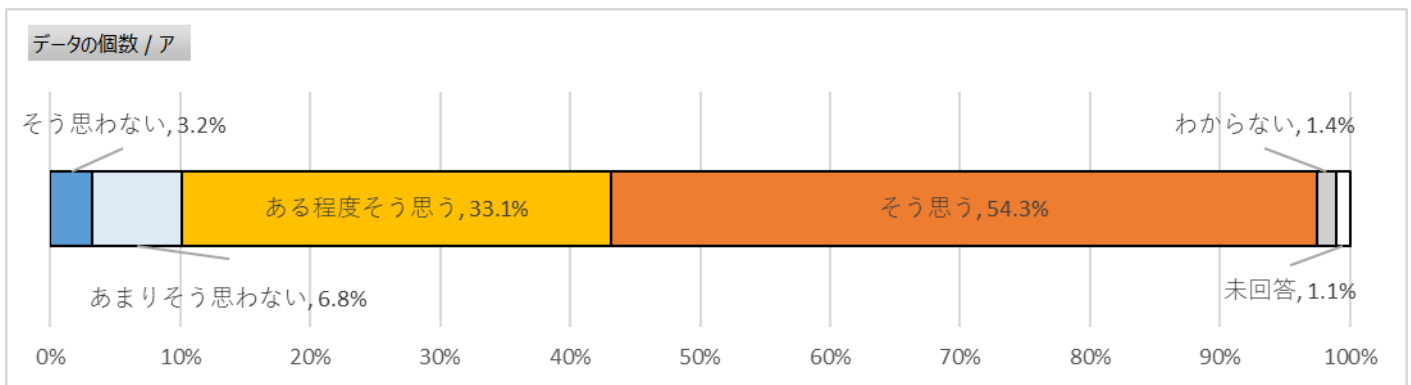
**設問 6** まちぢから協議会の活動に参加して感じたことについてお答えください。

【項目ごとに1つだけ○】 ※公募委員の方は項目キ～ケを除いて回答してください。

ア 所属団体以外での知り合いが増えた

1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ある程度そう思う  
4. そう思う 5. わからない

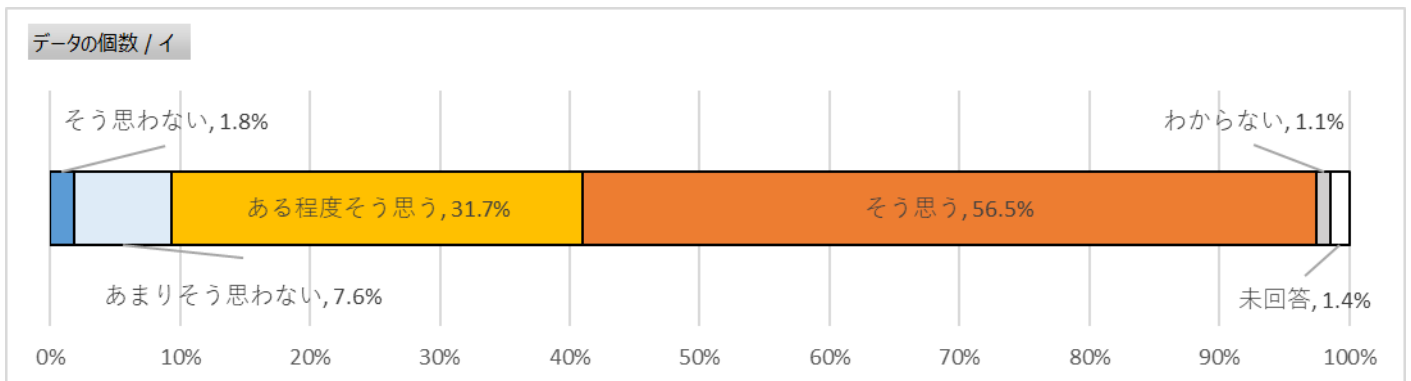
	そう思わない	あまりそう思わない	ある程度そう思う	そう思う	わからない	未回答	合計
回答割合	3.2%	6.8%	33.1%	54.3%	1.4%	1.1%	100%
回答数	9	19	92	151	4	3	278



イ 地区内や他団体の情報や課題を知ることができた

1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ある程度そう思う  
4. そう思う 5. わからない

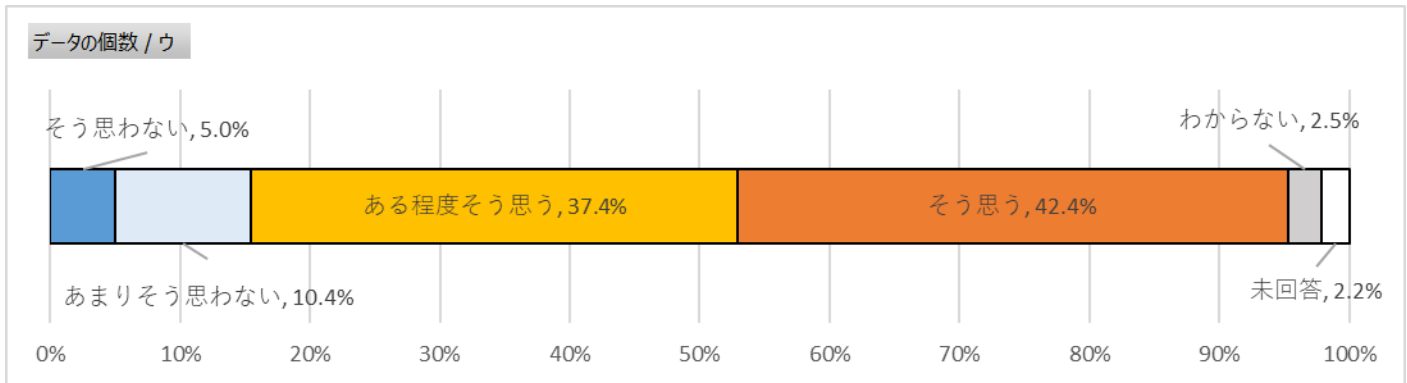
	そう思わない	あまりそう思わない	ある程度そう思う	そう思う	わからない	未回答	合計
回答割合	1.8%	7.6%	31.7%	56.5%	1.1%	1.4%	100%
回答数	5	21	88	157	3	4	278



ウ 地区内の他団体と連絡や相談がしやすくなった

1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ある程度そう思う  
4. そう思う 5. わからない

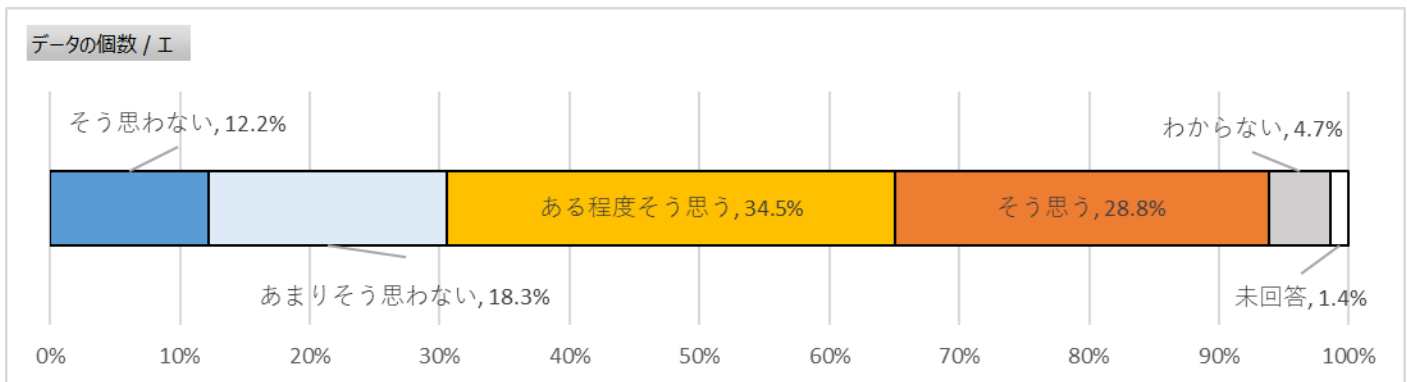
	そう思わない	あまりそう思わない	ある程度そう思う	そう思う	わからない	未回答	合計
回答割合	5.0%	10.4%	37.4%	42.4%	2.5%	2.2%	100%
回答数	14	29	104	118	7	6	278



エ 地区内の他団体と一緒に事業を行うことができた

1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ある程度そう思う  
4. そう思う 5. わからない

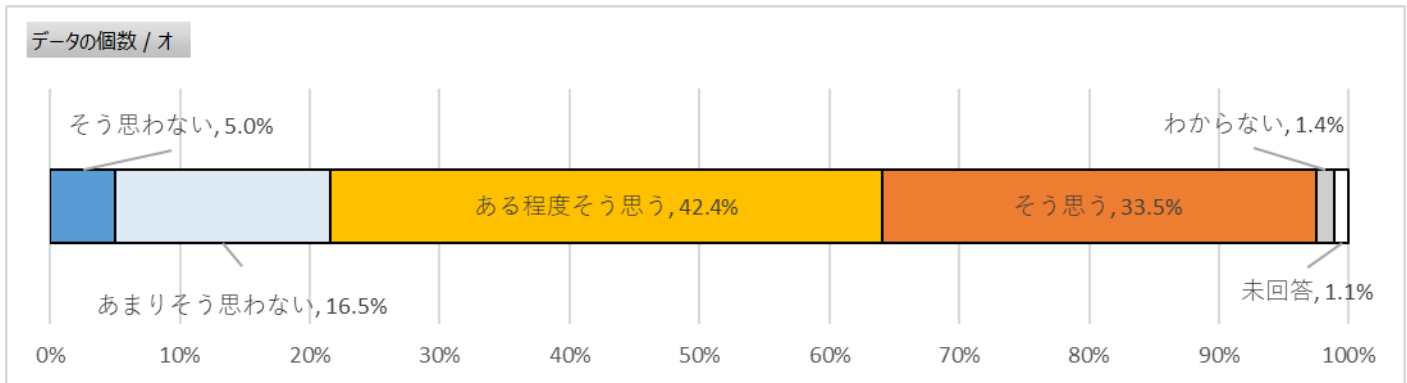
	そう思わない	あまりそう思わない	ある程度そう思う	そう思う	わからない	未回答	合計
回答割合	12.2%	18.3%	34.5%	28.8%	4.7%	1.4%	100%
回答数	34	51	96	80	13	4	278



オ 市からの情報を受け取りやすくなった

1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ある程度そう思う  
4. そう思う 5. わからない

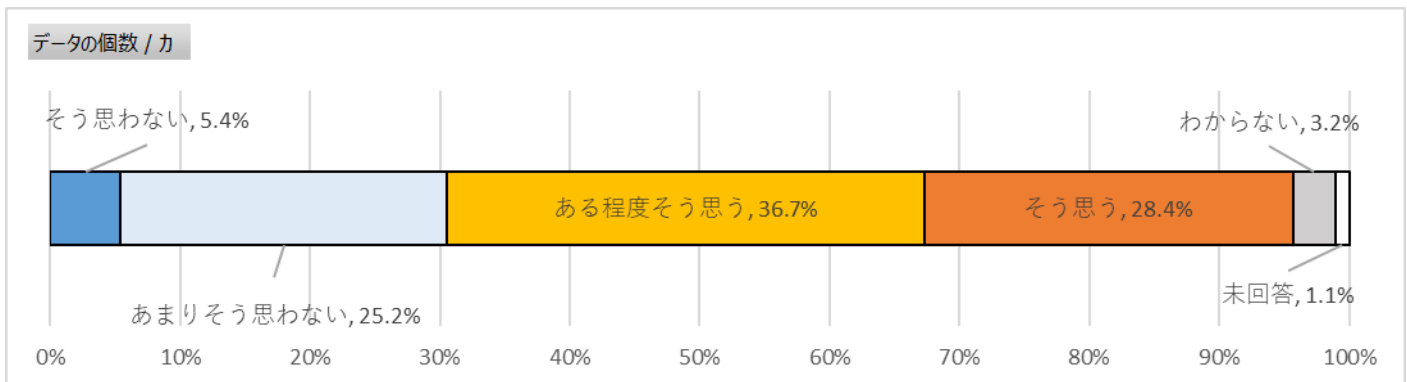
	そう思わない	あまりそう思わない	ある程度そう思う	そう思う	わからない	未回答	合計
回答割合	5.0%	16.5%	42.4%	33.5%	1.4%	1.1%	100%
回答数	14	46	118	93	4	3	278



カ 市とのやりとりがしやすくなった

1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ある程度そう思う  
4. そう思う 5. わからない

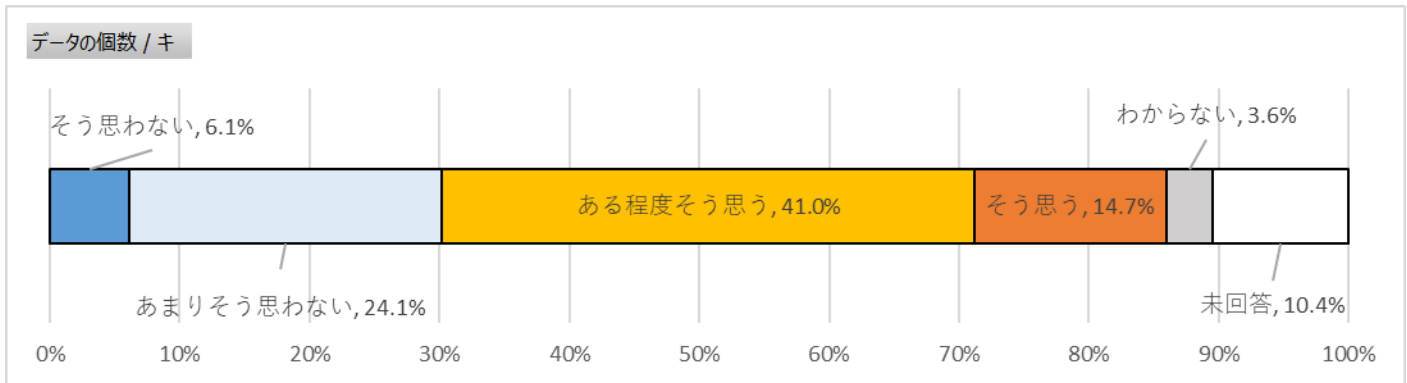
	そう思わない	あまりそう思わない	ある程度そう思う	そう思う	わからない	未回答	合計
回答割合	5.4%	25.2%	36.7%	28.4%	3.2%	1.1%	100%
回答数	15	70	102	79	9	3	278



キ 所属団体の活動がしやすくなった (公募委員回答不要)

1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ある程度そう思う  
4. そう思う 5. わからない

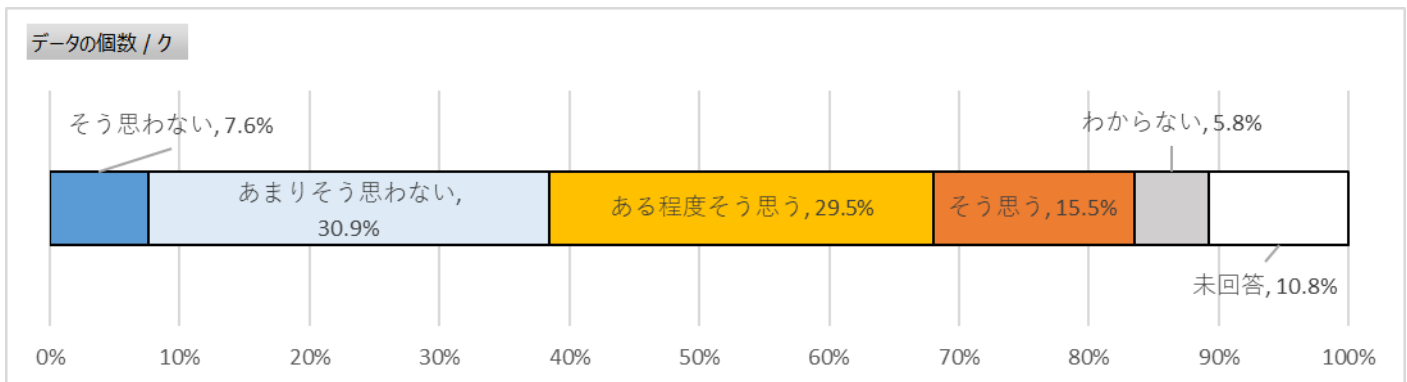
	そう思わ ない	あまりそう 思わない	ある程度そ う思う	そう思う	わからない	未回答	合計
回答割合	6.1%	24.1%	41.0%	14.7%	3.6%	10.4%	100%
回答数	17	67	114	41	10	29	278



ク 所属団体の課題解決につながった (公募委員回答不要)

1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ある程度そう思う  
4. そう思う 5. わからない

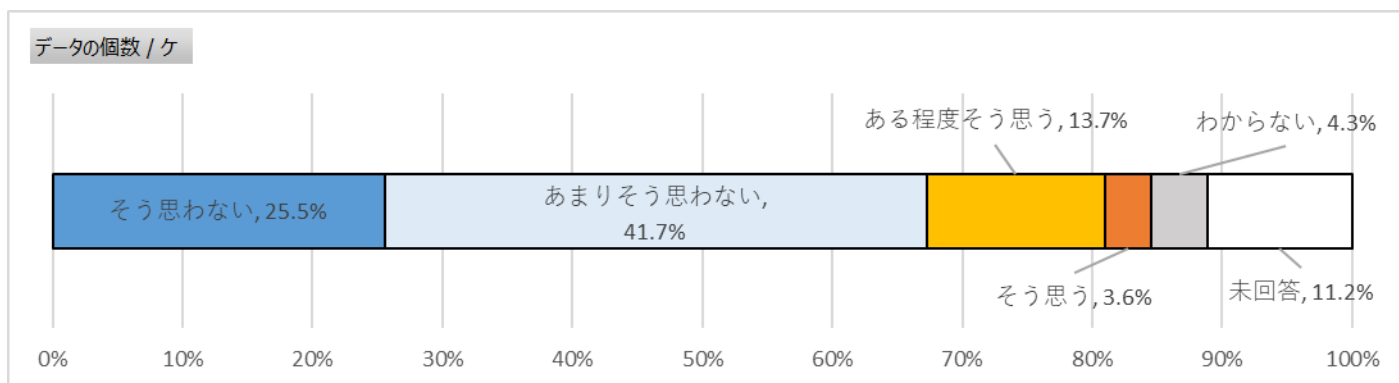
	そう思わ ない	あまりそう 思わない	ある程度そ う思う	そう思う	わからない	未回答	合計
回答割合	7.6%	30.9%	29.5%	15.5%	5.8%	10.8%	100%
回答数	21	86	82	43	16	30	278



ケ 負担が減った (公募委員回答不要)

1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ある程度そう思う  
4. そう思う 5. わからない

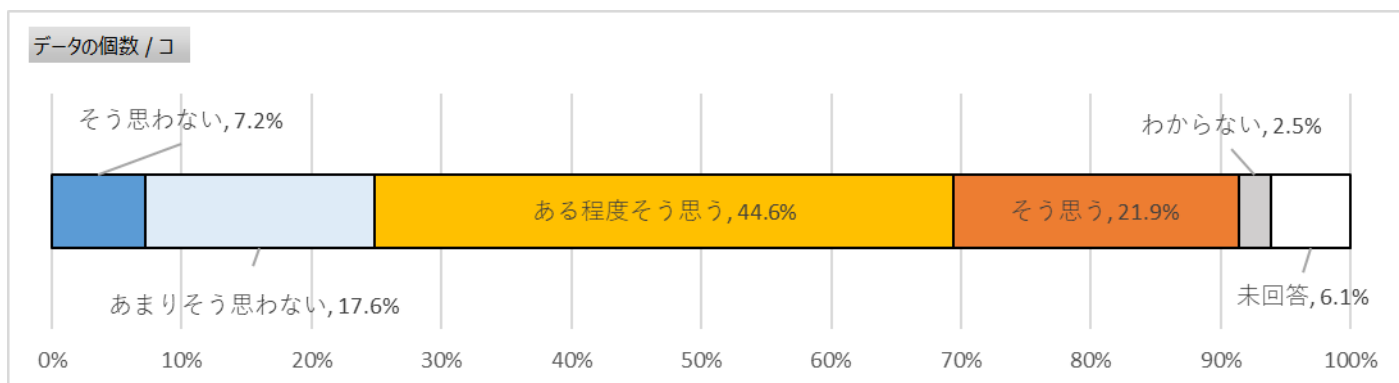
	そう思わない	あまりそう思わない	ある程度そう思う	そう思う	わからない	未回答	合計
回答割合	25.5%	41.7%	13.7%	3.6%	4.3%	11.2%	100%
回答数	71	116	38	10	12	31	278



コ 楽しく活動できている

1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ある程度そう思う  
4. そう思う 5. わからない

	そう思わない	あまりそう思わない	ある程度そう思う	そう思う	わからない	未回答	合計
回答割合	7.2%	17.6%	44.6%	21.9%	2.5%	6.1%	100%
回答数	20	49	124	61	7	17	278

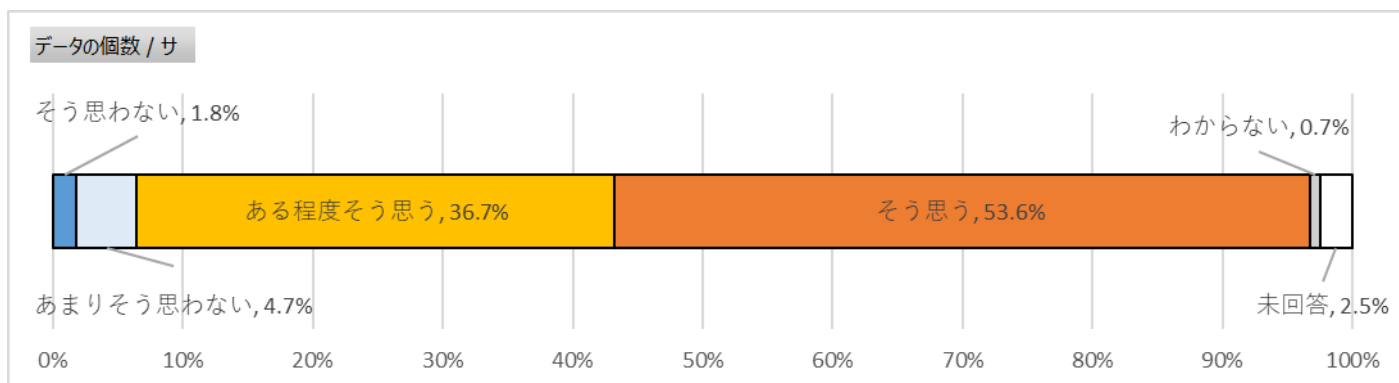




サ 定期的・継続的な地区内での意見交換ができる場があることは良いことだと感じている

1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ある程度そう思う  
4. そう思う 5. わからない

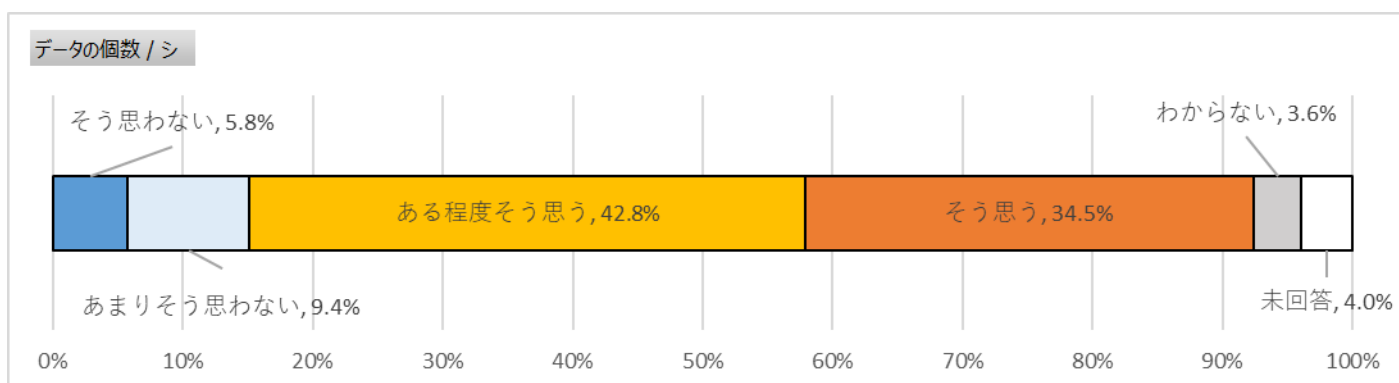
	そう思わない	あまりそう思わない	ある程度そう思う	そう思う	わからない	未回答	合計
回答割合	1.8%	4.7%	36.7%	53.6%	0.7%	2.5%	100%
回答数	5	13	102	149	2	7	278



シ 今後も地区内の活動に携わっていききたい

1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ある程度そう思う  
4. そう思う 5. わからない

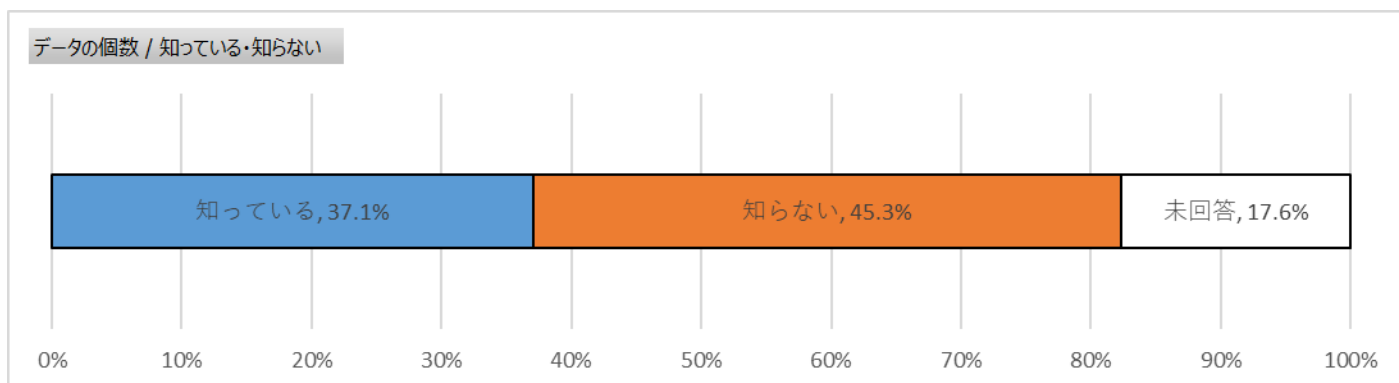
	そう思わない	あまりそう思わない	ある程度そう思う	そう思う	わからない	未回答	合計
回答割合	5.8%	9.4%	42.8%	34.5%	3.6%	4.0%	100%
回答数	16	26	119	96	10	11	278



**設問 7** ●●地区まちぢから協議会では、設立趣意書を掲げています。あなたはこの設立趣旨書の記載内容を  
知っていましたか。

1. 知っている 2. 知らない

	知っている	知らない	未回答	合計
回答割合	37.1%	45.3%	17.6%	100%
回答数	103	126	49	278



あなたは協議会の現在の活動は、設立趣意書の目的達成に向けたものとなっていると思いますか。

【項目ごとに1つだけ○】

・ 設立趣意書に記載されている目的

1. できていない 2. あまりできていない 3. ある程度できている  
4. できている 5. わからない

⇒地区ごとに設立趣意書の記載内容が異なるため、全地区の集計からは除いています。

**設問 8** 各地区まちぢから協議会での活動をよりよくするためのアイデアがあればご記入ください。

	会議の進め方や体制について
1	時間内で終了し適正であると考えます。議長のまとめがよいと思います。
2	いまのままで良いと思います
3	スムーズに進められています。分かりやすかったです。
4	現時点で良いと思う
5	事務局機能の強化
6	旧態依然の形と新体制（まちぢから発足後）が一本化されていない。要見直し！
7	市のメッセンジャーボーイとなり、主体性を欠いている。
8	組織のスリム化が望まれる。特に運営委員会が年数回ではまちぢからの活動の広がりが望めない。すべての自治会が入らなければならないというのもわからないでもないが、それだけで大世帯になり会議にならない。
9	月1回の定例会で基本的な情報交換はできていると思いますが、参加者のその先の方々への周知・告知は回覧板とまちぢ H/P によるものが主体かと思う。果してこれで十分なのだろうかと思います。*実態は把握していませんが…
10	若い方の加入、意見の取入れが足りないと思います。
11	まずは、自分の所属する自治会の役員の固定なり、なり手を増やす方法を考える
12	委員がもっと増えると良い（継承問題）
13	若い世代が参加できる方法を考えるべき
14	設問 8, 9 会議の内容が役所やその他団体からの周知が主になっている。団体の目的が違うため共通の話題が少なく、結局周知が主になっていると思われる。自治会の数が他団体と比べて多い為、自治会の話題や問題を話すときは他団体とは別に行っている。しかし、自治会によっては出席する代表者（自治会長）の任期が1年のため、問題などが理解してきた時点で次の代表者（自治会長）と交代してしまうため、数年にわたる継続案件などの検討は、なかなか難しい。等、構成団体間に共通な話題が少ないことから、今後もお互いに協力できる事案の情報は共有し、各団体の構成員が自主的に参加していくやり方が良いと思う。地区では、まちぢの HP を利用し、各団体の予定を横並びで表示し、誰でも参加したり自身の予定と重ならない工夫ができるよう検討している。それより現在主な問題は、まちぢの主団体となっている自治会に入会する市民が減っていることと、構成員の年齢が高齢化し、自治会の存続が危ぶまれていることだと感じます。現在まちぢを構成している団体のほかに、若者で構成している団体（具体的には何があるかわからないが、場合によっては福祉関係の団体以外かもしれないし、地区ごとに無いかもしれない）を積極的に取り込んでいくことが必要と思います。
15	今のままで良いと思います。もう少し若い人も増やしたほうが良いと思います。
16	個の負担が大きい。
17	地域住民の方が主体者意識がうすい
18	所属団体のバックアップのために「まちぢから」があり、会議を行っているとの意識改革
19	自治会連絡会とまちぢからとの間がギクシャクしているので、体制の見直しが必要
20	型にはまりすぎているように感じる。もっと柔軟にしたほうが良い
21	土、日の会議を希望
22	13:00~の時間は他活動との関係でせめて14:00~がよい

	会議の進め方や体制について
23	会議をする時間が少ない
24	従来の形(各自治会、団体の報告形式)を変え報告あるところのみの形
25	意見が一方通行(議論、討論がない、時間がない)
26	時間が長い、9:00~11:00までの90分厳守としてほしい
27	情報共有メインの会議なので、もう少し協議、相談、ワークショップなどの割合を増やすとよいと思います。また既に体制が固定化しているので、自分の力をどう生かせるのだろうと答えがなかなか見つからないところです。
28	行政からの依頼事項、読めばわかるものは省略し、時間は減少すべき
29	ややみなさんと協議するという時間が少ない
30	通常の会議は1時間以内で終わること。
31	議題が多く、時間がかかりすぎています。
32	毎月の会議について、報告や情報共有はできていると思うが、議論を深めたり、活発な意見交換ができていないと感じる。テーマや課題ごとに部会があると議論が深まるといった。
33	運営委員会の時間的に終了時間が不明なので延び延びになると困ることがあった。
34	机の配置など、委員間でのコミュニケーションを取りやすくすることを検討中
35	2時間以内で終わるように
36	委員会は毎月開催しているが、2ヶ月一度程度で十分と思う。
37	提案型が多いので参加が難しい(専門性が高い)各自で考えた内容を伝えるやり方はどうか。
38	今は会議体だけのまちぢから協議会に、役務を果たす役員と実働スタッフを備える。
39	議題と内容を予め運営委員全員に開示する。現状では予習の出来ている自治会長連合会メンバーと主催者のみでのやり取りとなる。討議すべき議題は分科会を作っても時間をかけて議論すべきと思う。
40	全員が話をする形で進められると良い。参加してもいつも同じ方が話をしていて交流にはなっていない。
41	運営員会はやたら人数が多く、実りのある会議となっていない。
42	まだまだ改善すべきことがある。分科会的な話し合いの場を多く、意見を出しやすくする。
43	参加者が自由に発言できる環境づくり
44	報告の場であれば、文書を配布するのみで参集する必要性はない。もっと各種団体の取り組みがわかるような発表の場を創出したほうがいいのか？
45	まちぢから協議会は各団体の代表を集めて協議することに努めるべき(部会は特定のみとする)
46	定例会議を事前に共有したい。報告だけでなく意見を言い合える会議を望みたい
47	月1回の全体会議は必要ないと考えます。
48	市職員のファシリテーターとしての役割を発揮すべき、何のための参加？
49	連絡会の打ち合わせ内容を議事録的なもので提示いただければより理解できる
50	リモート会議を使った、ハイブリット型ミーティングを行いたい。
51	将来的にはZOOM参加等も整備していただければと思います。
52	パソコン等を利用したペーパーレス会議
53	運営役員の構成次第でアクティビティが大幅に変化する。所属団体のエゴを出してはいけない
54	以前より少しずつ良い方向に行っているが、問題点もある
55	議事を明確に表示し、合った会議の進行を望む

会議の進め方や体制について	
56	欠席者にもわかるような資料作りをしてほしい
57	短時間、時間厳守で進めてほしい
58	自治推進課の指導等に感謝申し上げます。
59	書記は大変だったと思います。感謝
60	むずかしい課題については分科会で討論してほしい
61	高齢者の買物や庭の手入れ等が不便で困っています
62	前向きな意見が多く出る会議で進めてほしい。
63	平日の夜に会議があるため、会社員や高齢者の委員の方は参加しにくい
64	特定の団体内の意見対立を協議会内に持ち込む為、建設的な意見交換ができない
65	より建設的な運営にしていきたい
66	〇〇の場合、自治会連合会にお金を持たしたままにしたことが間違い
67	報告で終わっている感がする
68	月ごとに委員会を絞って問題解決・協力等を進めたらいかがか！
69	テーマを絞った会議に
70	より具体的な活動計画を立て実行する。
71	運営委員会がもう少し部会同士の協力関係が構築できるものになると良いと思います。

協議会内や外の他団体との情報共有や連絡方法について	
1	情報が早くなった
2	良い方法と思っている
3	まちぢから広報でわかるが、自治会の活用が必要
4	回覧、広報などが多過ぎる
5	出席者の発信力に差があるので工夫が要る。
6	組織横断的な意見交換が全くできていない
7	若い人たちが働いているので集まりをすることが少ない
8	部会の数が多く又地域内の他団体と重なる事業も多く、整理する必要がある
9	必ずしも十分とは思えません。やり取りが見えづらい
10	まちぢからの事務局が「コミセン」と言う事で電話番号はすべてコミセン。ところがそれを受ける事務局はまちぢからのことについては何も情報がない
11	他組織の情報が出されていない
12	情報交換がない
13	外の手団体情報共有が難しい
14	LINE グループによる連絡はとても便利ですが、まだ全員参加になっていないのが課題だと思います。
15	一方的な報告のみで会の進め方は悪くなった(令和4年度より)
16	分科会での決定事項等を全体会で発表
17	メールと資料の案内の整合をとるように
18	会議ではなく、ラフミーティングにする
19	重要な情報は時間かけて、その他簡略に
20	チラシ配布が多く、わずらわしい場合あり、工夫要
21	机の配置など、委員間でのコミュニケーションを取りやすくすることを検討中(同上の効果として期待)
22	部会長会議のような連絡会でそれぞれの活動を紹介して相互理解を深め、部会長は部会員に他部会の活動を説明する。
23	他団体の活動内容をもっとくわしく知りたい。自分の自治会活動の参考にしたい。
24	コロナの終息後に情報交換会の場を設けてほしい
25	他地区との懇談会の開催
26	会議以外の場でも問い合わせや連絡ができるよう担当・名前・役職がわかる名簿が欲しい。
27	定期的な情報交換の場を継続する
28	運営委員会以外のざっくばらんな情報共有の場が必要かもしれません
29	ペーパーレスで活用できる新たな取り組みが考えられたらよいと
30	グループラインを使用する
31	メールやラインを有効に活用してはどうか
32	LINE などを利用して紙媒体を少なくしていく
33	よりデジタル化を進めるべきと思うが、高齢化が問題か？
34	メールでの連絡体制を作るべき *DXにも合致する
35	グループラインを利用し情報を周知しコミュニケーションをとる

協議会内や外の他団体との情報共有や連絡方法について	
36	紙媒体を極力削減し、可能な委員にはネットを利用して情報共有・連絡を図る。
37	スマホのLINEでの連絡を増すと良い。
38	メールのグループ、LINEのグループで情報をフルオープンで共有したら
39	スマホを活用した連絡網
40	SNS等の利用、各団体活動HPの活用
41	難しい点もある
42	現役世代には中々難しい所がある。
43	LINEは大変便利でした。でも、どうしてもよいことに反応するのはわかりません
44	ペーパーレスが進み handy だがすてられやすい。紙の重みが時には重要か
45	団体がたくさんあるので、ラインなどだと誰だかわからないが、連絡は取りやすい
46	他団体の意見を尊重し聞く協議会でありたい。
47	連絡方法は問題なし
48	それぞれが意思表示を自ら行う。それがアイデアやアドバイスを受けることにつながる
49	従来（30年以上）から活動している団体は部会にする必要なし



協議会内や外の他団体との活動やイベントについて	
1	参考になることが多い
2	七福神めぐり等小出との協力等良いと思います。
3	協議会に参加することで活動内容を理解できた（今まで参加しておらずよく分かっていなかった）
4	出来る範囲内での活動しかできていない。
5	前例主義で、検証、フォローアップを行わない体質
6	必要とされる活動がされていない
7	まちぢからとは？が認識されていないので、まちぢを前面に出せない。「まちぢ主催」の冠を多用して周知させる。
8	外の他団体情報共有が難しい
9	自治会の負担とならないようにしてほしい。
10	活動、イベントの自由度を上げる必要がある。
11	従来と同じイベント等が主体となり内容工夫要
12	共同でやるイベントを今後皆で考えていきたい
13	机の配置など、委員間でのコミュニケーションを取りやすくすることを検討中（同上の効果として期待）
14	若い世代が参加できる（したい）イベントを実施
15	地域のイベントはコミセン中心なので老人には行きにくいので近くの場所で持ち回りを行うと良いのではと思う
16	まちぢからには予算もないので（25万はイベントなどに使えない）コミセン事務局員も役員会に（発言権なくとも良い）他団体とのコラボの事業は難しいと思われる。
17	部会どうしの交流、サポート、イベントへの参加を常に促進していく。
18	協議会には実質的に有効な部会だけを残し、冗漫な部会体制を改編する。
19	情報発信を積極的にやってほしい
20	グループラインを使用する
21	ホームページ（インターネット）を活用し、もれなく周知されたし *DXにも合致する
22	主体が自治会になるべきであるが、少ない役員になる方を増やすべき
23	活動やイベントが多い
24	活動やイベントの活発化が街の活性化につながると考え感染症対策した上で活動できるとよいと考えます
25	共働でできるとつながりができる
26	このところのコロナの影響もあり低下
27	交流事業は極力増やすべき
28	新しく関係が出来たので実態が分かり難い
29	増やしていく。
30	イベントの情報共有をさせていただいているが、関わり方がわからないので「～を協力してほしい」など具体的に声をかけていただくと参画しやすいと感じる。
31	必要があれば協議する
32	今後多くなる様に
33	地域住民参加型のイベント開催
34	七福神めぐりでは小和田地区と連携し立ち上げることができた



協議会内や外の他団体との活動やイベントについて	
35	他団体の活動にも興味を持つ意識を持つようにしたい。
36	更に活発化ができればと思います
37	部会同士の理解が深まれば他部会への興味も沸いて協力し合えるようになる
38	学校を使ってできる行事の企画
39	他団体との連携は不十分
40	共催イベントの活動が有効
41	「まちぢから」自体にはヒト、モノ、カネはない。知恵の出し合いのみ
42	地域住民が一体となって、つながりが実現（顔の見える関係づくり）
43	この地域の特色に合ったイベント実施があると良いです。・海の家での夏休みこども映画会・子供サーフィン体験会・60歳以上のサーフィン体験会
44	各種イベント参加、お手伝いを通してお話を聞く。
45	情報交換し合い協力できる事項は共助し合う
46	地域で活動している団体同士の協力関係を強固なものにすべき
47	施設を運営する社会福祉法人との連携は今後も必要だと思えますが頼るばかりとはいかないと思えます。

**設問 9** まちぢから協議会制度について思うことがあれば自由にご記入ください。

まちぢから協議会制度について思うこと	
1	市政との接点という意味ではとても意義ある活動だと思います。自治会単位では十分働きかけできないところをカバーできると思います。
2	地区の団体が知り合える場としてよいと思う
3	地域住民(特に高齢者)が集う場所としての有用性はある
4	いろいろの方と話ができて生きがいを感じている。
5	部会があってそこでテーマを設定するのではなく、まずテーマを見つけて、テーマごとに部会を設置すべき
6	〇〇地区にしっかり沿ったテーマの下、更に明確なテーマの取り組みが求められる。
7	市からの情報や連絡事項が多く最も大切な事柄に取り組めてない
8	各部会に関係団体が入っていて部会と団体との立位置についてまだまだ検討が必要かと思います。
9	発足当初と比較して市の財政状況等？大きく変化している。まち協の存在価値*** (判読不能) 認められない
10	まちぢと各自治会が一本化されていない。特にまちぢは何をするかと特徴を持たせて、たとえば遊びが中心とか・・・(可能性はないが、その色が…) 私の持論だが長く役員をやらないでどんどん変わる。
11	この制度は、当初の目的を達せず、市の下請けを営々と実施しているだけ
12	まちぢから協議会制度は、大きくなった茅ヶ崎市と従来の自治会との間を埋めるために、条例により各地区に導入された組織であると思うが、自治会員と非自治会員に同じサービスを提供するという無理が非効率的な制度運営を強いている。特に〇〇地区では、設立趣意書に一言の言及もない〇〇問題や自治会がない地域の存在が市とまちぢから協議会から見放されたままである。まちぢから協議会が自治会連合会から浮いて、展望を持たない地域コミュニティ活動が空回りしている。
13	自治会長連合会と競合して屋上屋を架するようなものになっている。どちらか一方の屋根を外さないとうまくいかないように思う。今は「まちぢから協議会」の形が見えない。早く現状を脱却して設立趣意書に書かれているコーディネイト機能を強め住民に目を向けた取り組み体制に走って欲しい
14	自治会との関係をもっと強めるとよい
15	自治会単位の活動が、地域のつながりとなるのであり、まちぢからに活動を求めるべきではない。各団体が考えなければならない社会・環境の変化とその対応を学ぶ機会の提供が必要
16	まちぢから協議会はあくまで自治会、自治会連合会を支援する立場であるべき、地域の活動を支えているのは自治会です。
17	自治会加入者が減っている現状で必要な制度だと思いますが、自治会との関係が整理できていないとか、わかりにくい現状です。課題はあってもなくして良い制度ではないはずですし、皆さんボランティアでの参加なので、より良い〇〇の生活に知恵と力を出し合えると良いと思っています。
18	自治会とのつながりが見えにくい
19	住民への周知がされていない。取り込まれる団体としては負担が増えるだけに思っている人もいる。
20	アピール度がうすい
21	とても良い制度であると思うが、各自治会の加入者がどこまでこの活動や生活環境保持のために動いているかを知らなすぎるのでは？と思う。
22	更に時間をかけて地域の代表として確実に認知されるよう努力及び改善を希望

	まちぢから協議会制度について思うこと
23	活動が住民に知られていないように思えるので良い方法を考えてほしい
24	「まちぢから」制度そのものがまだまだ理解されていないため、自治会との関係が非常にむずかしい。
25	まちぢと〇〇連合会のつながりが理解できない。
26	毎月実施されている運営委での情報が地区内(自治会内)で共有されていないことが多く、組織が機能していないと思われます。
27	運営委員が1年で交替(大部分は自治会長)する現状では継続的な取り組みに結びつかない。
28	若い方の意見を取り入れないと高齢者のひとりよがりになってしまうのではないのでしょうか
29	人材の育成のための創意工夫
30	また、役員の方々の年齢も高齢で若い加入者の関心のなさと感じる場面を多く見受けられます。難しい課題ですが、創設の意志を守るためにも今後真剣に向き合わなくてはならないのでは?と思います。
31	活動要員が自治会により大差がある
32	自分とはもかく、脇から見ていると役割によって大変そうで自分は決してなりたくない
33	地域の為に、いい取り組みだと思います。長年携わってきましたが、新規加入者が定着するのはなかなか難しく、私も子供の成長を共にかかわってきたものの、年齢が上がり進学するにつれ仕事と両立するのは困難となってしまいました。役員をひきうけて、更にこちらの委員になることが条件になっていることで、負のイメージがついていることが気がかりです。
34	必要と思うが、自分の自治会で忙しいので協力があまり出来ない
35	当自治会において役員の辞任、退去が増加する中、役員の補充が困難と同時に環境事業対策等住民増加が多めで活動量が非常に拡大している中でまちぢ協活動が非常に重荷となっている。
36	〇〇地区においては、現在母体となっている各種団体が機能しており「まちぢから協議会」を設ける意味が薄い。構成員の負担が増えているのみ。無くしたほうが良い。
37	各部会への市からの補助金額が少ない。
38	設立趣意が浸透しますように!勉強会でも開くかな!
39	あること自体は良いが会の使い方がわかってない感じ
40	まだまだ話し合うことが少ないので、制度としては良いがより深く市民が自主活動意識を持つ必要がある。
41	1年か2年に1回程度は有識者との意見交換、助言が欲しい。
42	専任職員のアドバイスが必要である
43	自治会が入手している情報とは異なる情報以外をもっと流してほしい。また、自治会からの依頼事項をもっと行政の方に伝える役目を担ってほしい。
44	部会不要(活動内容があわない)
45	高齢者が進行する中での自治会、コミュニティ組織のあり方要検討。一部の方の相当な負担、体制づくりが優先することは避けたい
46	制度の見直し、現状のたなおろし
47	学校区と自治会区の整合性に工夫が要る。
48	協議会内の課題を取り上げ関係先との事前協議を検討する。
49	協議会に事務局設置が望まれる。人員の配置を考えてほしい。
50	自治会連合会とまちぢから協議会 一本にした方が良い

	まちぢから協議会制度について思うこと
51	制度は良いと思います。今回の HP 活用も良いアイデアであると思います。市の協力体制をもっと強くしていったほうがありがたい。
52	行政側よりの更なる支援・協力をお願いしたい。
53	制度について、市の方向性を明確に地区へ卸し、各地区へ放任せずに、より良い事例を提示してほしい。
54	資料やアジェンダは紙ではなく DATA とスマホかパソコンで見に行えるようにならないか。
55	連絡会の議事はメンバーにメールマガジン又はホームページで公表してほしい(今はされていない) * DX にも合致する
56	(負担の増加) 毎月の会議があれば参加しないと…と思う人が多数いると思います。欠席では気が引けるし行くのは各々の事情で負担と思うこともあると思うのでうまくリモートを取り入れることができれば負担に思う人も少なくなるのかと考えます。
57	早急に「緩やかな世代交代」について意見交換会やアンケートを若い世代と持つ事、彼らの要望を知ることのほうが重要
58	月 1 回は多い為 3 か月に 1 回程度がよいと思う
59	別の地域在住でまちぢから協議会等の委員になっている場合、在住地域での自治会役職(組長等)を免除してもらえ制度が欲しいです。(かけ持ちは負荷的に厳しいです)
60	部会役員の交通費手当等無し、手弁当で活動している。補助が有ってしかるべき
61	資金面でも特別事業費というありがたい制度があるが、もう少し利用しやすいように改善してほしい。税金が使われているからむだな使い方など、あり得ないので、もっと市民を又活動しようとしている市民を(住民を)信頼してもらわなければ、予算が取れることになってからのスタートではとても 1 つの事業展開するには時間が足りない。
62	市からの補助金内で活動すべき。自治会から協力金(補助金)を出してもらうのはやめて欲しい。
63	まちぢから協議会として主体的な革新的な活動をしている情報(全国的な)を提供し地区や市の為に、活躍できる場になると良いと考えます。
64	それぞれの部会に沿った活動を行いたいと思います。
65	市民の活動自体に賛同する人がいるのでしょうか
66	1 年間ありがとうございました。
67	今の中心メンバー引退後の心配です。
68	行政との関係が理解出来ました。
69	補助金のおだ遣いのないように、交付に際してチェックをしっかりとすること。
70	防災もまちづくりワークショップのように、グループごとに課題を考えたり、企画を考えたりすると会員同士の顔がわかるし、意見交換しやすい。自治会がメインの会だが、自治会員だけでなく茅ヶ崎地区に住む方なら誰でも参加できるような催しの開催など地区の人同士がつながるような事業ができれば良い。
71	地区防災訓練に初めて参加させていただき、参考になりました。今年度も調整ができましたら参加調整できればと思います。
72	特定の個人の意向が強く、公園の問題解決の足かせとなった。より多くの意見を!
73	地区の柱として位置付けた以上、理想の姿を追い求めていきたい。
74	自治会未加入者への対応がいつも問題に上る。ゴミ捨てる問題についても未加入者が問題となっている解決が難しい。まち協制度でも未加入者への対応は難しい。

まちぢから協議会制度について思うこと	
75	その他の意見 市長は「こどもが大切」とおっしゃり私たちも地域で「子どもを宝」として活動しているが、小・中学生は行政区が異なるので、なかなかむずかしくなってきた。差別しているような意見が出てくる為、今後の活動考えてしまう。
76	前服部市長と現佐藤市長では、まちぢからへの情熱の違いが感じられる。現市長の方が甘く見ているので、もう少し過熱してほしい。地域活動が要です。
77	毎年、自治会長さんの半数近くが、新会長になっているのでまちぢから協議会の説明会を行ってもっと協議会内で活動をしてもらえるように努める。
78	2022 年度、参加している必要性を感じる事ができなかった。検証中とのことで現状致し方ないと思った。市のご担当の方はいつも丁寧にご対応いただきとても感謝しています。ありがとうございました。
79	〇〇地区は本来あるべき姿からはずれているように思う。
80	地域の一体感を生み出すことは難しい。同じ地域に住んでいる実感に欠ける。
81	委員になってまだ期間も浅く、委員会等参加継続し経験積みたいと思います。
82	個人や個々の団体では実施できないことをどんどん実施して欲しいです。
83	初めて参加してみて、地域活動の大きな軸になっていることがわかった。今後もっと存在をアピールし、仲間をふやしたい。